

平成24年度事業報告

I 事業実施概要

本会は、健康でたくましい県民の育成を図るため、県民総スポーツならびに競技力向上を目指して積極的に諸事業を実施した。また、2018年に開催が予定されている福井国体への準備を進めると共に、本県において関係機関・団体と連携して北信越国体を開催した。

このため、全県的な視野に立った各種スポーツ振興事業を企画・立案するとともに、スポーツ振興の実質的な担い手である競技団体、市町体育協会及び関係機関・団体との連携強化を図り、各種事業を積極的かつ効果的に実施した。

また、福井県知事から公益財団法人としての認可を受け、平成24年4月1日に公益財団法人移行の登記を完了し、新たな法人としてこれらの活動を推進している。

II 事業内容

1 競技会開催事業

(1) 県民スポーツ祭開催事業 【別冊資料 1 参照】

県民の多様なスポーツニーズに応え県民総スポーツを推進するため、本会および福井県、福井県教育委員会、福井県レクリエーション協会、各市町、各市町教育委員会、各市町体育協会の協力のもとに実行委員会を組織し、'12県民スポーツ祭を県下一円において66競技・種目により開催した。

大会名	開催地	大会期日	参加者総数
'12県民スポーツ祭	県下一円	平成24年6月～平成25年2月 総合開会式：平成24年7月14日	32,520名

2 関係団体育成事業

(1) 社会体育振興事業

本会加盟の17市町体育協会・47競技団体が県下各地域、各競技・種目毎に行うスポーツ普及振興事業に対して助成を行った。

(2) スポーツ少年団育成事業

スポーツ少年団組織の整備充実を図るため、団活動の推進をはじめ指導者・リーダーの養成ならびに母集団の組織整備等の事業に対し助成を行った。

平成24年度登録 単位団536団（団員：11,347名 指導者：2,675名）

(3) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という。）の創設・育成を推進するためクラブ育成アドバイザーを配置した。また、総合型クラブの活性化を図るため、クラブ間で各種の情報提供等を行った。

設立クラブ数 設立24クラブ（新規1） 設立準備1クラブ【別紙資料参照】

(4) 指導者協議会育成事業

県内の公認スポーツ指導者組織の整備充実と公認スポーツ指導者の資質向上および活動促進を図るため、福井県スポーツ指導者協議会に対し助成を行った。

スポーツ指導者協議会（会員数：1,596名）

3 スポーツ指導者育成事業

(1) 指導者養成講習会事業

(公財) 日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づき、指導者の公認資格取得をすすめ、県内各地のスポーツ指導現場で活躍できる指導者を養成した。

指導員養成講習会 6競技団体（参加者：143名）

(バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、バドミントン、弓道、空手)

(2) 指導者研修会事業

県内における(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者のさらなる資質向上と活動促進および指導者の連帯感を深めるために、スポーツ指導者研修会を開催した。

指導者研修会 ハートピア春江 他1会場実施（参加者：334名）

4 競技力向上事業

(1) 選手育成事業

選手の発掘・育成に関する教室や練習会の開催、指導者や大会運営に関する役員等の育成を推進した。

(2) 競技力向上対策事業

第33回北信越国民体育大会・第67回国民体育大会・第68回国民体育大会冬季大会に向けた計画的な選手強化事業を実施するとともに、平成30年に開催される福井国体への対策として、少年種別の選手となる小学生に対するトップアスリートによるスポーツ教室等を開催した。また、国体での入賞実績の少ない競技への強化事業、各競技の指導者・運営役員の育成を目的とした研修事業等を行った。

強化対策

国体強化競技力向上対策事業（A指定：19競技 B指定：5競技）

国体種目ワンランクアップ強化事業（強化対象：12競技16種別98人）

プレ強化事業（強化対象：16競技516点）

ジュニア育成強化事業（対象：40競技）

優秀指導者配置支援事業（配置競技：ホッケー競技）

30年国体対策

ジュニア選手拡大推進事業（実施：9競技31回開催 参加者1,002名）

指導者育成事業

第3期リーププロジェクト研修（修了者：21名 累計90名）

日本体育協会公認スポーツ指導者資格講習会（受講者：10団体 12名）

(3) 積善会ジュニア選手育成強化事業

ジュニア選手の育成強化を図るため積善会の助成金を活用し、育成強化事業実施経費や大会開催経費、大会支援スタッフ派遣経費等の事業に対し助成を行った。

- ジュニア育成環境整備事業（助成競技数：3 団体）
- ジュニア大会開催補助事業（助成競技数：23 団体）
- 全国大会支援スタッフ派遣事業（助成競技数：29 団体）
- FUKUI ジュニアサポート事業（助成競技数：14 団体 186 名）
- ジュニア教室開催補助事業（助成競技数：15 団体）
- トップアスリート活動支援事業（助成競技数：2 団体 2 名）
- リーグ指導者支援事業（助成競技数：16 団体 27 名）
- ナショナルジュニアサポート支援事業（助成競技数：3 団体 9 名）

(4) 関係会議開催事業

競技力の向上や国体への参加および、30年国体に向けた対応のため、入賞対策会議、国体監督会議、国体壮行式・研修会、国体反省会、競技力分析ヒアリング等を実施した。

5 スポーツ医・科学関係事業

(1) 医・科学活用推進事業

各競技のトップレベルの選手に対するスポーツ医・科学の研究成果を取り入れた計画的な練習やトレーニングの導入、栄養管理、傷害予防、メンタルトレーニング、リハビリ等の医・科学サポートの実践を通して競技力の向上を図った。

- メディカルチェック・フィットネスチェック（実施状況：13 競技 55 名）
- 国体候補選手メディカルアンケート（実施状況：42 競技 950 名）

(2) ドーピング防止教育・啓発事業

国体選手を中心にドーピング防止教育・啓発活動を実施し、薬物乱用・誤用の認識を高めることにより競技者の健康被害を防ぎ、健全なスポーツ活動の普及啓発を図った。

- ドーピング防止講習会（実施状況：5 回 約 400 名）
- ドーピング防止ガイドブック配布（配賦数：900 部）

6 広報・情報提供事業

公式ホームページや「体協ニュース」・「体協だより」を活用し、本会の組織・概要および、各種事業について積極的に公表した。

- 体協ニュース 1, 500 部
- 体協だより 800 部

7 国際交流事業

(1) 日中・韓スポーツ交流事業

日本と中国・韓国の青少年及び成人によるスポーツ交流を行い、各国の相互理解を深め、友好親善とスポーツの振興を図った。

日中交流

	事業名	期間	交流団体派遣先等	受入・参加人数
受入	日中ジュニアアテニス大会事業	8月18日～8月23日	河北省 保定市	選手10名 指導者等2名

日韓交流

	事業名	期間	交流団体派遣先等	派遣・参加人数
派遣	日韓ソフトテニス交流事業	6月8日～6月12日	全羅南道昌原市 ソフトテニス競技連合会	選手19名 指導者等1名
	日韓バレーボール交流事業	8月7日～8月10日	京畿道、ソウル市、スウォン市 バレーボール	選手17名 指導者等5名
受入	日韓スポーツ交流・ 少年サッカー交流事業	8月22日～8月26日	全羅南道順天市 順天中央4学校サッカー部	選手25名 指導者等6名

8 国体等派遣事業

(1) 国体派遣事業 【別冊資料 2参照】

国体において、優秀な成績を収めるとともに、恒常的な競技力向上体制を整備・充実・発展させるため、本県代表として選考された本部役員、成年種別及び少年種別の監督選手を国体に派遣した。

大会名	会期	開催地	選手団	成績
第67回国民体育大会	平成24年9月29日～10月9日 〈会期前実施〉 水泳：9月13日～17日	岐阜県 愛知県	447名	別紙
第68回国民体育大会 冬季大会スケート競技会	平成25年1月27日～1月31日	東京都	50名	
第68回国民体育大会 冬季大会スキー競技会	平成25年2月16日～19日	秋田県		

(2) 北信越国体派遣事業 【別冊資料 3参照】

北信越国体において、優秀な成績を収め本国体参加資格の獲得をめざすとともに、恒常的な競技力向上体制を整備・充実・発展させるため、本県代表として選考された本部役員、成年種別及び少年種別の監督選手を北信越国体に派遣した。(福井県開催)

大会名	会期	開催地	選手団
第33回北信越国民体育大会	〈中心会期〉21競技 平成24年8月24日～26日 〈会期前実施〉カヌー他13競技 平成24年5月19日～	福井県 (クレ-、カヌー SP:石川県)	福井県700名 石川県693名 富山県699名 新潟県688名 長野県692名

9 表彰事業 【別冊資料 4参照】

本県のスポーツ振興に著しく貢献したものに対し表彰を行った。

- (1) 体育功労者賞 20名
- (2) 優秀選手賞 86名
- (3) 優秀指導者賞 3名
- (4) 国民体育大会賞
 - 団体表彰 16団体
 - 個人表彰 157名

10 その他

- (1) 全国大会ならびに各種ブロック大会の後援 【別冊資料 5参照】

- (2) 安全管理の強化の取り組み

国民体育大会参加者傷害補償制度への加入促進

加盟団体の賠償責任保険への加入促進

スポーツ安全保険への加入促進

(25年1月まで)

区分	団員数	Web 加入数	対象団体
A・AW	20,760	8,850	中学生以下の子ども
AC	2,659	687	A・AW区分の子どもの指導・支援として共に活動を行う大人
A2	3,424	915	高校生以上の文化活動団体
B	2,975	133	老人などのクラブ
C	13,836	5,073	高校生以上のスポーツ活動団体
D	0	0	危険度の高いスポーツ活動団体
合計	43,654	15,658	